

兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会  
会員の皆様

平素よりお世話になっております。

兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会の訪問看護質向上委員会です。

この度は、管理者の皆様アンケートのご協力を頂きまして、誠にありがとうございました。  
令和5年12月～令和6年1月にご協力いただきました、介護職員の喫吸引研修終了後の課題及び、訪問看護師によるフォローアップの現状と課題に関する調査結果のご報告をさせていただきます。

### I. 介護職員の喫吸引研修終了後の課題及び、訪問看護師によるフォローアップの現状と課題に関する調査結果

#### アンケート調査

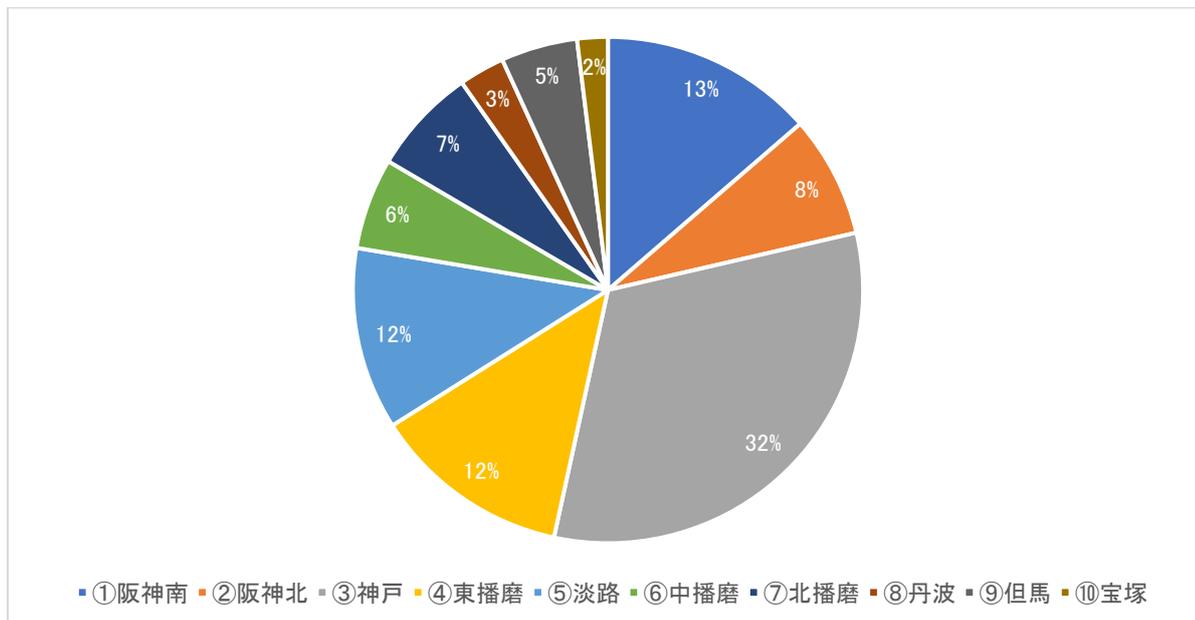
方法：メール配信に二次元バーコードを添付し回答

回答期限：2023年12月8日～2024年1月20日

配信数496件、回答数103件(回答率20.8%)

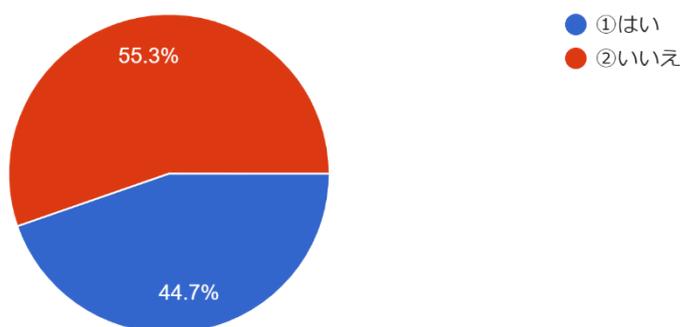
#### 1. あなたの所属施設のブロックを選択してください。

(103件の回答)



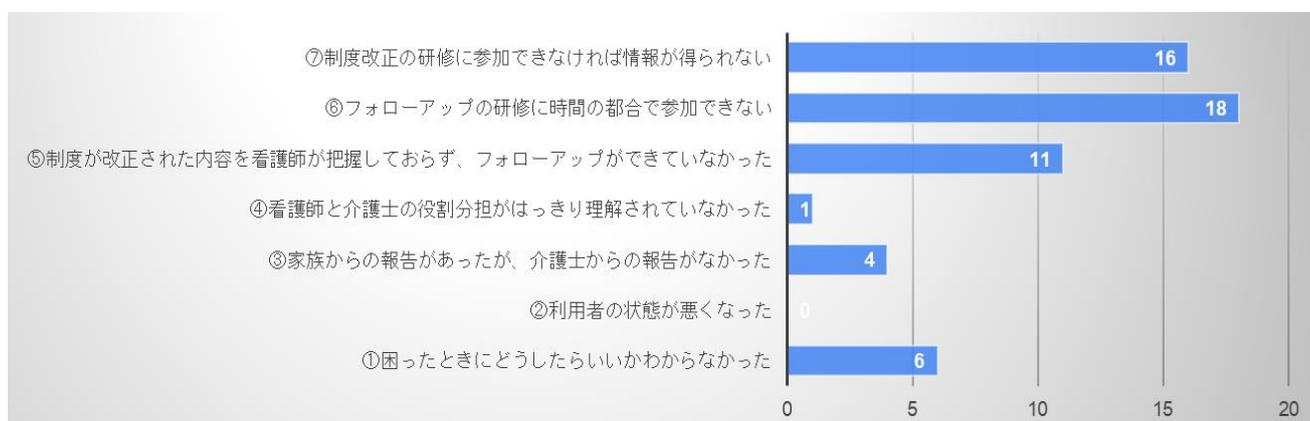
2.介護職員の痰吸引研修(以下、研修)を実施されていますか。もしくは、過去に実施されたことがありますか。  
 (「はい」に回答された場合は3へ、「いいえ」に回答された場合は9へ。)

(103件の回答)



3.研修終了後、課題となったことで、下記のうちあてはまるものを選んでください(複数回答可)

(44件の回答)



<その他自由記載内容>

自身の転居、転職でフォローできなくなった

手技の習得に時間がかかる方に対しても、ヘルパーステーションや家族から、早く研修を終わらせてほしいと言われる

研修機関の指導に問題があります

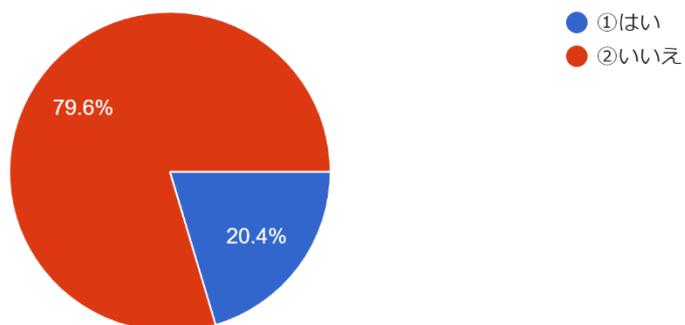
対象の利用者がいなかった

介護士が受講している研修の場所によって、内容などが異なる。

介護事業所によって、利用者への吸引実施が早くできるように実施回数を指定してきたり、実地指導評価表のポイントを押さえずに実施し指摘すると実地期間が長期となり利用者に負担をかけてしまう事態になっている。

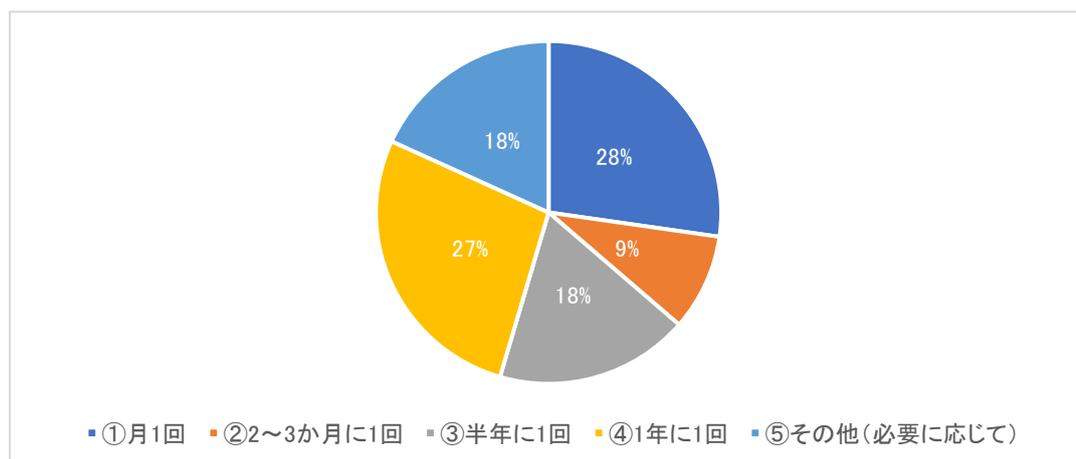
4.研修終了後のフォローアップを実施されていますか。もしくは、実施されていきましたか。

(49 件の回答)

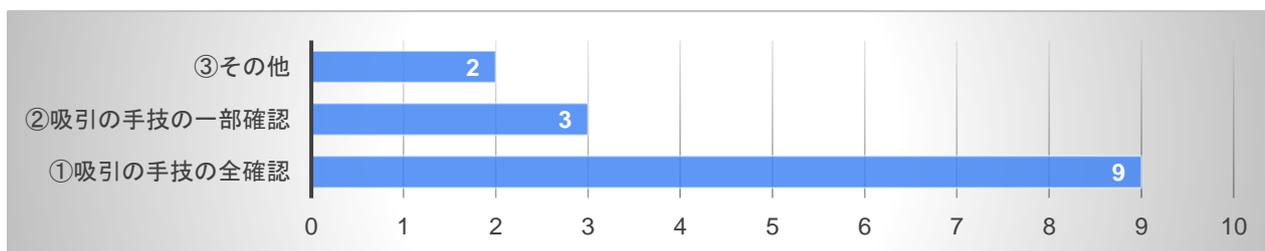


5.フォローアップを実施されている頻度について、次の中からあてはまるものを選んでください。

(16 件の回答)



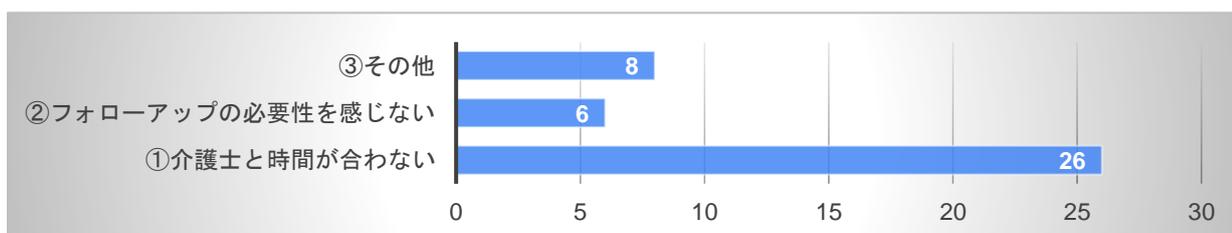
6.フォローアップで実施されている内容について下記のうちあてはまるものを選んでください(複数回答可)  
(14件の回答)



<その他自由記載内容>

実施はしていないが口頭で手技について月1は確認はしている  
必要な事項についての補足

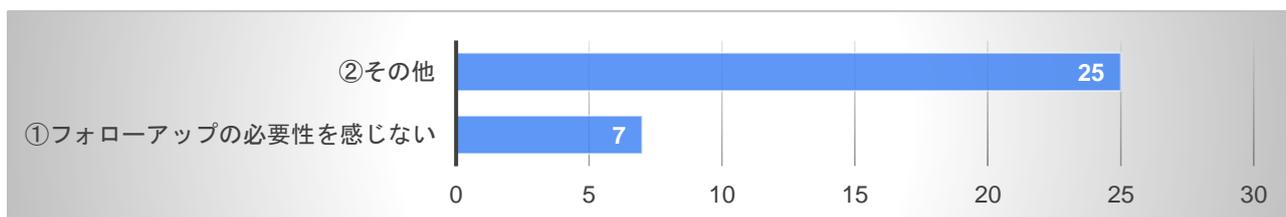
7.フォローアップ実施にあたっての課題について、下記のうちあてはまるものを選んでください(複数回答可)  
(40件の回答)



<その他自由記載内容>

問題なければフォローアップをしていない  
問題になった事例がない。そもそも依頼がない。  
介護士からの報告がない  
訪問看護師が訪問している際に介護士が滞在しており吸引を実施している状況を確認することができる。また  
実地指導を行なった介護士が別曜日の訪問となればフォローアップはできていない。  
指導した人と会っていない  
介護事業所からのオーダーがない  
施設側の時間、提供環境の都合

8.フォローアップを実施していない理由について、下記のうちあてはまるものを選んでください(複数回答可)  
(32件の回答)



<その他自由記載内容>

【利用者の訪問がなくなった】

利用者の状態が悪化し入院となってしまうタイミングが計れない。

訪問が終了になったため

短期間の利用であったため

対象者がいなくなると忙しさを立ち消えになりやすい

【介護士にしてもらわなければならない】

訪看での実施が殆どになった(奥までの吸引が出来ないため)

持続吸引器の利用で介護職が吸引をする場面がほとんどなくなった

【時間の調整が困難】

時間がない

時間調整が困難。利用者様の入院やご逝去。

時間を合わせるのが難しい

時間の都合が合わない

人員不足 スケジュール調整が困難

介護士と時間が合わない

時間調整が難しい

【対象人数が多くすべてフォローできない】

実地指導した介護員の人数が多くすべてにフォローしにくさがある

【フォローの必要性を感じていない】

1度見てもらったならそれでいいという認識がある？

特にその後何の問題もなかった

【指導した人と連携できていない】

連携がうまく図れていない

指導した人と会っていない

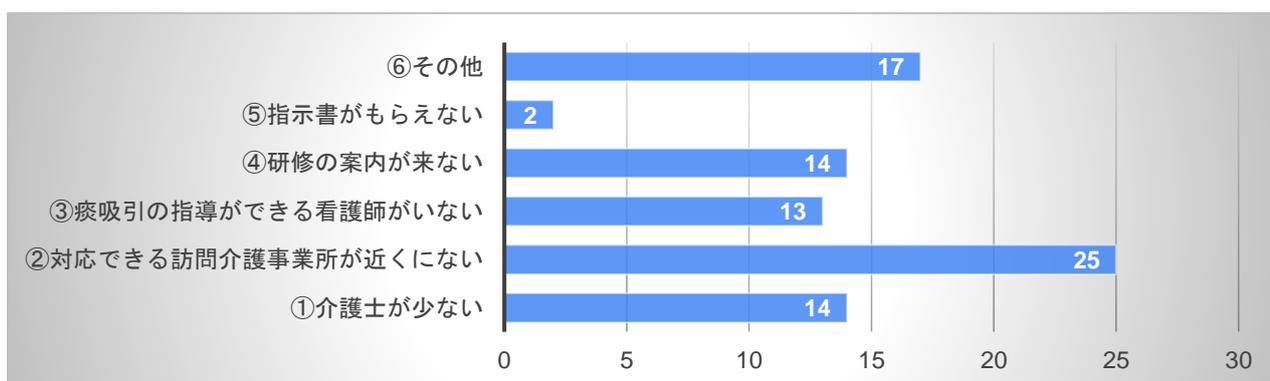
【最近研修したばかり】

最近、介護職が取得したばかりです

【普段の訪問の中で確認ができている】

普段の訪問で介護士と会う機会が多く、そこで課題や不安の確認をしアドバイスしている。

9.研修を実施していない理由について、下記のうちあてはまるものを選んでください(複数回答可)  
(75 件の回答)



<その他自由記載内容>

【時間、機会がない】

事業所の開設から間も無く、研修を行う機会の設定ができていないため。

機会がない

時間がない

以前は法人内研修と医療的ケアの講師もしていたが、現在は多忙で関りがなくなっている

【看護師で対応できている】

看護師が多く、現時点でその必要性がない。

【希望する介護職員がいない】

希望する介護職がいない

介護職員がいない

研修を受けて実地指導でマンパワー不足

【対象の利用者がいない】

依頼がない

あてはまる利用者がいない。

精神科訪問看護が主なため

精神科訪問看護なので必要性がない

【すでに研修を受講してから入職している】

痰吸引研修を受講済で入社された方が多い

## II. まとめ

今回の調査では、103 件の回答が得られ、そのうち 46 件(44.7%)が現在もしくは過去に介護職員の痰吸引研修を実施したことがあると回答した。研修終了後課題となったこととしては、フォローアップの研修に時間の都合で参加できないが最も多く 18 件、次いで、制度改正後の研修に参加できなければ情報が得られないが 16 件と多かった。

痰吸引研修を実施したことがある施設のうち、研修終了後のフォローアップを実施しているのは 10 件(20.4%)

と少数であった。フォローアップを実施している頻度については、82.0%の事業所が年に1回以上の実施をしており、内容としては、手技の全確認が9件と最も多かった。

フォローアップ実施における課題としては、「介護士と時間が合わない」との回答が最も多かった。また、フォローアップを実施していない理由、介護職員の痰吸引研修をそもそも実施していない理由に関しても、「時間が無い」、「機会がない」といった内容が最も多い結果であった。介護職員の痰吸引研修を実施していない理由としては他に、「対象となる人がいない」、「希望する介護職員がいない」など、ニーズの無さやマンパワーの無さについての回答があった。

痰吸引研修終了後のフォローアップに関しては、実施ができていない施設が少数であること、研修やフォローアップの実施にあたっては、多くの施設で時間やマンパワー不足が理由となっていることが明らかとなった。今後の痰吸引研修の実施やその後のフォローアップの実施のための検討にあたり、どのようにしていけば時間の無い中、マンパワーの無い中で実施がしていけるのかについて考えていきたい。

以上  
ご協力ありがとうございました。

兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会 訪問看護質向上委員会